

道の駅「立田ふれあいの里」を中心とした観光拠点の整備をします

本市の観光拠点となる道の駅「立田ふれあいの里」や隣接する都市公園（愛西市花はす公園）の整備を行います。

12億3082万1千円

Q 道の駅周辺整備事業を西ゾーンの公園整備と東ゾーンの公園整備を分ける理由は。



▲道の駅周辺整備事業完成予想図(基本設計時点)

A 施設の運用に支障をきたさないよう、順次供用する予定で、経済性、効率性を優先して、手戻り工事の無いように、必要な工期を確保するために分ける。

Q 海部南部水道企業団加入工事の目的は。

A 東ゾーンは現在、水道施設が無いため、新たに水道を引込む。

Q 道の駅再整備事業の内容と各整備工事の金額、業者選定の方法は。

A 24時間トイレ新設工事（1億6100万円）、駐車場外構整備工事（約2億1千万円）、道の駅浄化槽・キュービクルの撤去更新（約2億3200万円）、倉庫工事（約1500万円）。工事設計金額に応じて業者を選定する。

Q サウンディング型市場調査の結果は。

A 9社行い、6社については道の駅の管理実績がある企業、3社については都市公園の管理実績を有する企業。

Q 道の駅の利益について市の考えは。

A 西ゾーンの道の駅部分でいかに利益を出していくかを考える。



▲藤浪駅前広場完成予想図

藤浪駅前広場の改修工事を行います

魅力的な都市景観づくり、市民・駅利用者の憩い・賑わい空間などの創出に向け、藤浪駅前広場の改修工事をおこないます。

1億600万円

Q 来年度どのような工事をするのか。

A 老朽化した施設を撤去し、芝生広場を各種イ

ベントの開催やキッチンカー等の進入が可能な空間に改修し、パーゴラの建設等を行う。

部活動の地域移行に向けた環境を整備します

国が進める部活動の地域連携や地域スポーツ・文化クラブ活動移行に向けた環境の一体的な整備を進めます。

60万円

Q どういった地域団体と連携を図るのか。

A 県のモデル事業として、現在地域で活動している「あいさいマーチングバンドブローイング」に委託し、佐織中学校と連携を図り、休日に生徒を受け入れる環境を整えてもらう。

Q 委託料の内容は。

A 講師の謝礼、会場の使用料、楽器の運搬料等を計上している。具体的な内訳は、現在学校と運営団体の調整をした上で、活動内容を詳細に詰めていく。

Q 市が考える地域移行の課題は。

A 地域部活動推進検討会議を設置し、検討中である。受入れ団体と学校側の調整は課題の一つと考える。